

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 青少年の体験活動の充実
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 地域全体で子どもを育む活動の充実
- オ 家庭教育支援の充実

生涯学習課

地域産業と学校の連携による地域人財育成事業 3,982千円

〔事業目的及び概要〕

若年層の県内定着・回帰のため、教員、児童生徒及び保護者の地域産業に対する理解を深めることにより、郷土に愛着と誇りを持ち、積極的に地域に関わろうとする人財を育てる事業である。

〔事業内容〕

(1) 地域産業と学校の連携・協働による地域人財の育成(地区実行委員会委託事業)

ア 各地区連携会議の開催(6地区各1回)

県内6地区において、地域産業と学校の相互理解を深め、キャリア教育の在り方や連携・協働の進め方について情報交換を行うため、高等学校教職員、企業、PTA、商工団体等による会議を開催する。

※各地区就職促進懇談会と連携して実施

イ 各地区教育支援見本市の開催(6地区各1回)

学校におけるキャリア教育の充実のため、企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)の具体的な取組を紹介し、教職員や学校支援ボランティアと企業・NPO等の交流を図る。

※総合社会教育センター講座「学校と地域の協働実践セミナー」と連携して実施

(2) 地域産業と学校の連携・協働に向けた啓発

ア 地域産業と学校の連携推進フォーラムの開催

学校と地域産業の連携・協働による人財育成に係る気運の醸成をねらいとするフォーラムを開催する。

○実施日：10/17(火)

○場 所：青森県総合社会教育センター

○内 容：講演、パネルディスカッション、ポスターセッション、キャリア教育応援企業表彰

※青森県高等学校PTA連合会進路指導対策委員会と連携して実施

イ 教育支援プラットフォーム関係者のコーディネート能力を高める研修講座の開催(委託事業)

学校と地域産業の連携・協働を促進する役割を担う教育支援活動推進員や学校支援ボランティア等を対象として、キャリア教育に関する知識を深めコーディネート能力を高めることをねらいとした研修講座を開催する。

子どもの読書活動推進事業 2,879千円

〔事業目的及び概要〕

「青森県子ども読書活動推進計画(第三次)」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育てるため、家庭・地域・学校が連携して、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及啓発を進める取組を展開する事業である。

〔事業内容〕

(1) 乳幼児期からの読み聞かせ活動の推進

ア 「親子ふれあい読書アドバイザー」の新規養成及び読み聞かせ実践者のスキルアップ

青森県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内6地区で開催する。

イ 地域における読み聞かせボランティア活動の促進

教職員や保護者、放課後子ども教室・児童クラブ関係者、学校のボランティア関係者等を対象として、読み聞かせに係る研修会等を開催する小学校に、講師として「親子ふれあい読書アドバイザー」を派遣する。

ウ 啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」の活用促進

啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」を改訂するとともに、研修会やブックスタート等での活用を促進する。

(2) 読書離れへの対応

中・高校生による本の推奨活動として、仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集し、優秀作品を選定し、表彰する「あおもりの中・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」を実施する。

(3) 子どもの読書活動推進に係る普及・啓発

子どもの読書習慣の形成と豊かな心の育成を図る機運を高めるため、一般県民及び子どもの読書活動推進の関係者が情報の共有を図る子どもの読書活動推進大会を県内2箇所で開催する。

○開催日時・会場

7/28(金)13:00～ むつ市:下北文化会館

11/9(木)13:00～ 青森市:県総合社会教育センター

いじめ防止キャンペーン推進事業 7,503 千円**〔事業目的及び概要〕**

いじめ防止の取組は、学校だけでなく、家庭や地域、関係機関が連携して取り組むことが重要であり、いかなるいじめも許さないという人権尊重の精神を育む体制を整備することが必要である。このため、地域からいじめ防止の意識啓発キャンペーンを幅広く展開し、学校におけるいじめ防止に向けた取組を支える事業である。

〔事業内容〕

(1) いじめ防止CM原作コンクール

高校生から、いじめ防止を呼びかけるテレビCMの原作を募集し、優秀作品6本程度を選定、表彰する。

(2) テレビCM制作・放送

CM原作コンクール優秀作品をもとにしたCM案コンペを開催し、CM案と制作会社を決定し、放送する。

(3) いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀作品6本程度を選定、表彰する。

(4) 優秀作品のテレビ放送

CM枠を活用し、標語優秀作品の作者が友達や保護者、地域の方々とテレビを通じて県民にいじめ防止を語りかける。

障害者青年学級開設 968 千円**〔事業目的及び概要〕**

自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

○開設学級：視覚障害青年学級、病虚弱青年学級、肢体不自由青年学級、知的障害青年学級

○開設場所：県内特別支援学校(15校)

○開設時間：各3日間 8時間程度

○対象：障害のある青年等

○学習内容：(1)社会参加学習

(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障害者の福祉)

(2)スポーツ体験交流

障害者家庭教育学級開設 677 千円**〔事業目的及び概要〕**

障害のある児童生徒の父母等保護者の家庭教育支援を目的として、特別支援学校に家庭教育を開設する事業である。

〔事業内容〕

- 開設場所：県内特別支援学校(20校)
- 開設時間：4日間10時間程度
- 対象：障害のある子どもを持つ保護者等
- 学習内容：児童生徒の心理や行動、障害者の就労、福祉、体育及びレクリエーション

地域で学校を支える仕組みづくり推進事業 4,594 千円**〔事業目的及び概要〕**

学校に求められる役割が増大する中で、地域で学校を支える仕組みづくりを推進するため、学校支援活動を展開する市町村への支援を行うほか、学校支援関係者の資質向上と実践事例の普及啓発を図る研修会(フォーラム)を開催する。

〔事業内容〕

- (1) 地域で学校を支える仕組みづくり推進委員会
行政関係者、学校関係者、PTA関係者、学校支援事業関係者、学識経験者等で構成し、地域で学校を支援する仕組みづくりを推進するための諸課題や方策等について協議するとともに、フォーラムの内容検討、事業実施後の検証・評価等を行う。年2回開催。
- (2) フォーラムの開催
事業関係者の資質向上と、市町村の実践事例等の普及啓発を図るためにフォーラムを開催する。
○開催日時 11/22(水)13:30~16:00
○会場 県総合社会教育センター 大研修室
○対象 学校支援・放課後子ども教室・土曜学習等関係者、家庭教育支援関係者、キャリア教育関係者、市町村教育委員会関係者、教職員、PTA関係者 など
○内容 ・講演
・県内市町村の取組事例発表 など
- (3) 地域で学校を支える仕組みづくり推進事業費補助
地域で学校を支える仕組みづくり推進事業を実施する市町村(中核市の青森市及び八戸市を除く)に補助金を交付する。
予定8市町(学校支援本部数 29本部)
今別町 五所川原市 中泊町 板柳町 平川市 三沢市 横浜町 五戸町

農山漁村でとことん「学び・交流・体験」事業 5,346 千円**〔事業目的及び概要〕**

農山漁村における地域コミュニティの活性化や郷土に対する子どもたちの理解を深めるため、土曜日、日曜日、祝日、長期休業日の平日(以下、「土曜日等」という。)の学習活動等への学生サポーター派遣を行うほか、県内の子どもたちが農山漁村に宿泊し、豊かな地域資源を活用した交流体験活動等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 農山漁村における学生サポーターによる土曜学習活性化事業
農山漁村に学生サポーターを土曜日等に派遣し学習活動等を行うことによって、地域コミュニティの活性化を図る。
ア 取組概要
○派遣期間：平成29年7月～平成30年2月
○派遣箇所数・派遣回数：12箇所程度、月1回程度の派遣。
○学生サポーター(登録制)：原則3人1組で派遣。交通費・保険料を県が負担。
イ 対象市町村
○放課後子ども教室推進事業に取り組み、土曜日等に派遣を希望する市町村
○土曜学習推進事業に取り組み、土曜日等に派遣を希望する市町村
○土曜日等に派遣を希望する市町村

(2) 農山漁村体験留学支援事業「県内交流編」

県内の小・中学生が夏季休業等を利用して農山漁村に宿泊し、豊かな地域資源を活用した体験交流活動を行うことで、郷土あおもりについての理解を深める。

ア 実施期日及び宿泊場所

- 上北地区：7/22(土)～7/23(日)、小川原湖青年の家
- 三八地区：7/24(月)～7/25(火)、青森県立種差少年自然の家
- 中南地区：8/6(日)～8/7(月)、岩木青少年スポーツセンター

イ 参加対象及び交流先

- 西北地区の小・中学生 20名程度 → 上北地区で宿泊交流体験
- 東青地区の小・中学生 20名程度 → 三八地区で宿泊交流体験
- 下北地区の小・中学生 20名程度 → 中南地区で宿泊交流体験

ウ 活動概要(予定)

- 上北地区：小川原湖しじみ貝採り など
- 三八地区：南部町ブルーベリー収穫体験 など
- 中南地区：ねぷたまつり山車引き参加 など

(3) 農山漁村体験留学支援事業「津軽海峡交流圏編」

北海道新幹線を活用し、道南地方の自然・文化・歴史にふれるとともに、農山漁村に宿泊体験留学を行うことで、津軽海峡交流圏の理解を深める。

ア 実施期日：8/1(火)～8/3(木)

イ 参加対象：県内小学校4～6年生 計20名程度

ウ 宿泊場所：北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル森

エ 活動概要：道南地区の児童との交流活動、縄文遺跡見学など

あおもりの未来を変える0歳からの家庭教育応援事業 2,236千円

【事業目的及び概要】

乳幼児期からの家庭教育を推進するため、「乳幼児期からの家庭教育の在り方」について調査研究を行い、市町村の子育て支援策や母子健康手帳への取り込みを図るとともに、普及啓発のための番組をテレビで放映するほか、家庭教育をサポートする祖父母世代を対象とした研修会を行う。

【事業内容】

(1) 青森県における「乳幼児期からの家庭教育支援」普及定着事業

肥満傾向児出現率やう歯被患率の高さなど本県特有の課題を整理し、乳幼児期からの家庭教育支援について調査研究を行い、市町村や関係部局と連携しながら子育て支援策に反映をさせていく。

ア 青森県乳幼児期からの家庭教育支援調査研究

青森県乳幼児期からの家庭教育支援調査研究委員会を設置し、主に4～6歳の幼児のいる保護者を対象とした調査研究を行う。その内容をもとに、ウェブサイト「教えて！！乳幼児期からの生活習慣」へ新たなエピソードを追加するとともに、各ページの追加、修正を行う。

また、各市町村母子保健担当課より、各市町村で実施する乳幼児の健康診査や母子健康手帳配布時等に、ウェブサイトのQRコード付きステッカーシールの配布を依頼する。

イ 家庭教育支援テレビ番組の放映(主管：県総合社会教育センター)

青森県乳幼児期からの家庭教育支援調査研究委員会の調査研究内容を踏まえて番組を制作する。

○番組放映回数：4回程度(10月から放映予定)

(2) イクジイ、イクバアのためのイマドキの子ども研修会(青森県地域婦人団体連合会へ委託)

乳幼児期からの生活習慣を確立するとともに、肥満傾向児の出現率を抑えることを目的として、家庭教育をサポートする祖父母を対象とし、乳幼児期からのこどもの発達段階に応じた家庭教育の重要性や生活習慣に関する研修会を開催する。

○場所：鱈ヶ沢町、野辺地町、新郷村

○講師：青森中央学院大学 准教授 高橋 佳子

放課後子ども教室推進事業 61,746千円

【事業目的及び概要】

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民と交流活動等の取組を実施する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 放課後子ども総合プラン推進委員会
行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、福祉関係者、学識経験者、事業関係者等で構成し、全児童の放課後対策の諸課題について協議するとともに、放課後対策事業の実施方針、安全管理方策、広報活動方策の策定、指導者研修の内容検討や事業実施後の検証・評価等を行う。年2回開催。
- (2) 指導者研修
放課後子ども教室関係者と児童クラブ関係者等を対象とした指導員研修を実施する。
 - ア 放課後子ども総合プランコーディネーター等研修
 - 主管：県総合社会教育センター
 - 回数：2回
 - イ 放課後子ども総合プラン指導員等研修
 - 主管：各教育事務所
 - 回数：前後期2回(延べ12回)
- (3) 放課後子ども教室推進事業費補助
放課後子ども教室推進事業を実施する市町村(中核市の青森市及び八戸市を除く)に補助金を交付する。
予定22市町村(子ども教室数 86教室)
平内町 外ヶ浜町 今別町 深浦町 中泊町 鶴田町 弘前市 平川市 藤崎町
大鰐町 十和田市 おいらせ町 六戸町 横浜町 東北町 むつ市 大間町
風間浦村 佐井村 三戸町 五戸町 階上町

地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業 543千円

〔事業目的及び概要〕

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちにとってより有意義な土曜日の実現をめざすため、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、土曜日に体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する取組を支援し、教育新体制等の構築を図る事業である。

〔事業内容〕

- (1) 地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業費補助
土曜学習推進事業を実施する市町村(中核市の青森市及び八戸市を除く)に補助金を交付する。
予定 3市町(土曜学習実施箇所数 8箇所)
今別町 中泊町 弘前市

家庭教育支援推進事業 1,243千円

〔事業目的及び概要〕

家庭教育はすべての教育の原点であり、家庭を取り巻く環境が変化している中、社会全体で家庭教育を支援することを目的として、今日的な課題に対応する学習プログラムの作成や当該プログラムの進行役(あおもり家庭教育アドバイザー)の養成・派遣等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) あおもり家庭教育アドバイザーの養成・派遣
「あおもり親楽プログラム」を活用した学習を進行する家庭教育アドバイザーを養成し、団体等の要望に応じてPTA研修会や保護者会へ派遣する。
 - ア あおもり家庭教育アドバイザー養成講座 2回×1地区(五所川原市)30名程度
 - 対象：家庭教育支援活動に関わっている方、家庭教育支援活動に興味関心がある方等
 - イ 家庭教育アドバイザーの派遣 35回程度
- (2) 研修会の開催
あおもり家庭教育アドバイザーの資質の向上と家庭教育支援に関わる人々のネットワークを広げるため、研修会を開催する。
 - ア あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ研修 三沢市 1回
 - 対象：あおもり家庭教育アドバイザー登録者、あおもり家庭教育アドバイザー養成講座受講者等
 - イ 家庭教育支援普及定着研修会 年1回 県総合社会教育センター
 - 対象：市町村教育委員会担当者、家庭教育支援関係者、学校関係者、児童福祉関係者等
- (3) 家庭教育学習テキストの作成
家庭教育に関する今日的課題に対応した学習プログラム「あおもり親楽プログラム」を作成する。

- ア 家庭教育学習テキスト作成部会の設置
親等が主体的に学び合う参加型学習プログラム(あおもり親楽プログラム)を作成する。

若者の社会参加促進事業 765 千円

【事業目的及び概要】

若者の社会参加を促進することを目的に、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者の自立支援に向けた自然体験・交流塾を実施するとともに、社会教育施設を拠点に若者と地域、若者同士の出会いやつながりを形成する事業である。

【事業内容】

(1) 自然体験・交流塾

「平成 27 年度高校教員に対する中途退学者等の状況に関する調査結果」等を踏まえ、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者(16 歳～概ね 40 歳)を対象に、少年自然の家等を活用して、自立支援に向けた自然体験・交流塾を実施する。

ア 第 1 回自然体験・交流塾

- 期日：7/1(土)
- 場所：青森県立種差少年自然の家
- 活動概要：アイスブレイク、野外炊事 など

イ 第 2 回自然体験・交流塾

- 期日：8/26(土)～8/27(日)
- 場所：青森県立種差少年自然の家、カワヨグリーン牧場、階上岳
- 活動概要：社会体験活動、登山、宿泊体験 など

ウ みんなで自然体験・交流塾

- 期日：10/21(土)
- 場所：青森県立種差少年自然の家
- 活動概要：自然体験活動(参加者)、勉強会(保護者)、野外炊事 など

(2) 若者の拠点づくり支援

公民館等の社会教育施設を会場に、若者(概ね 20～40 歳代)を対象に、若者と地域、または若者同士の出会いやつながりを形成することを目的とした市町村事業の企画を支援するため、実施に係る謝金と旅費を負担する。※12 市町村で各 1～2 回派遣する。(他市町村との連携事業も可。)

総合社会教育センター

高大連携キャリアサポート推進事業 876 千円

【事業目的及び概要】

高校生の「やる気」や意欲を引き出し、自らの夢に向かって主体的に行動できる人財を育成するために、大学生によるワークショップを実施するとともに、コミュニケーション、ファシリテーション等の研修を行い、大学生のスキルアップを図る事業である。

【事業内容】

(1) ワークショップ「キャリアサポ」の実施

高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つめ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

- 実施時期：6 月～3 月
- 対象校：県内高等学校 24 校
- 対象生徒：約 3,450 名

(2) キャリア形成の支援

ア 高大連携キャリアサポート推進事業に係る会議の開催

- (ア) 実施校担当者連絡会議
- (イ) 大学生会議

イ 高大連携キャリアサポート推進事業担当者等研修会の開催

ウ 大学生研修会の実施

- (ア) 基本研修
- (イ) ワークショップ演習
- (ウ) 模擬演習(合同リハーサル)
- (エ) 応用研修

高校生スキルアッププログラム推進事業 263 千円**〔事業目的及び概要〕**

高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的として、学校外における学習への積極的な取組を推進する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 高校生スキルアッププログラムの運営
- (2) 担当教員研修の実施
- (3) 評価サービス

未来の青森県を担う若人育成講座 1,577 千円**〔事業目的及び概要〕**

青少年が自己肯定感を高め、主体的に行動できるようにするため、異年齢集団における活動を通して、他者と協力し、相互に学び合う講座と演習を実施する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 講座内容
 - 第1講座「コミュニケーション能力を高める講座」
 - 第2講座「自分や仲間の良さを知る講座」
 - 第3講座「地域で実践活動を体験し、仲間と実践する企画を考える講座」
 - 第4講座「地域実践活動を企画する講座」
 - 第5講座「地域実践活動を準備する講座」
 - 第6講座「地域実践活動を実行する講座」
 - 第7講座「これまでの実践活動等を振り返り、どのように活かすかを考える講座」
- (2) 実施時期：6～12月
- (3) 実施場所：青森市、黒石市、七戸町
- (4) 定員：30名

青少年異年齢交流モデル事業(寺子屋ありす)**〔事業目的及び概要〕**

青少年の豊かな人間性や社会性を育むため、異年齢集団における交流活動を通して、主体的に関わり、相互に学び合い、成長できる仕組みづくりを行うモデル事業である。

〔事業内容〕

- (1) 対象：青少年(小学生、中学生、高校生及び大学生)
- (2) 実施時期：通年
- (3) 実施場所：県総合社会教育センター インフォメーションプラザありす内(寺子屋)

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業**〔事業目的及び概要〕**

高校生・大学生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、当該団体と連携しながら、社会参加活動・創作活動の推進に取り組むための方策を研究する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 団体募集(高校生の団体及び大学生の団体等)
- (2) 団体の指定
- (3) 団体支援
 - ア 発表の場の提供
 - イ 情報発信の専用掲示スペースの設置
 - ウ ミーティング等を行うスペースの用意
 - エ 所報「響」やホームページ等での活動状況の紹介
 - オ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス
 - カ 名義使用の許可
 - キ 研修室等使用料の減免

学校と地域の協働実践セミナー 778 千円**【事業目的及び概要】**

地域学校協働活動の推進に向け、関係者の理解及び意識啓発を促進するとともに、実施体制の構築、仕組みづくりや活動に係るスキルの向上を図ることを目的とした研修を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 公開講演(全国の先進的な取組についての講演、情報交換など)
- 開催日：9/21(木)
 - 会場：県総合社会教育センター
 - テーマ：学校が変われば地域が変わる 地域が変われば社会が変わる
 - 講師：大阪市立おおぞら小学校 前校長 木村 泰子
- (2) 地区研修会（講義、演習など）県内4地区開催

開催地区	開催予定日	会場	テーマ
下北	6/29(木)	下北文化会館	子どもは地域の宝 ～地域と学校が連携して子どもを 育むために～
東青	8/31(木)	県総合社会教育センター	
中南西北	9/28(木)	板柳町多目的ホールあぷる	
三八上北	11/1(水)	十和田市東公民館	

教員力アップ！学校・家庭・地域連携講座 チーム「学校・家庭・地域」創造研修**【事業目的及び概要】**

次期学習指導要領等を見据えた「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校・家庭・地域が、『チーム』として連携し、“未来の学校づくり・人づくり”に取り組む重要性を学ぶとともに、実践事例から見える成果と課題を共有して、具現化するための研修を行い教員力の向上を図る事業である。

【事業内容】

- 開催日：11/16(木)、11/17(金)
- 会場：県総合社会教育センター
- 対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員
- 内容
 - 1日目 11/16(木)
 - 午前：講義…(仮)「社会に開かれた教育課程」の編成に向けて
事例発表…成果と課題～課題提起
 - 午後：演習①…(仮)「課題克服の秘策を考えよう！」(グループワーク)
 - 2日目 11/17(金)
 - 午前：情報提供…公共施設による情報提供
事業説明…教育支援プラットフォームの事業説明
演習②…企業による模擬授業の体験
 - 午後：演習③…教育課程編成に生かす計画・立案

絆でつながる家庭教育支援セミナー 884 千円**【事業目的及び概要】**

家庭教育支援に関わる人々の輪を広げるため、地域の絆の中での家庭教育支援につながる講座の企画・運営等の実践を通して、地域に密着した家庭教育支援者を育成する事業である。

【事業内容】

- (1) 様々な角度から学ぶ、より実践的で継続性のあるセミナーの実施。
- 実施場所：県内2箇所(1市町村、県総合社会教育センター)
 - 実施回数：各10回
 - 定員・対象：各10名・家庭教育支援を目指す人、PTA関係者等
 - 内容
 - ・家庭教育支援講座6回(支援の実際について様々な角度から学ぶ)
講座内容：基礎講座(支援の手法等)、連携講座(活動者との情報交換等)
 - 実践4回(子育てサロンを活用)
- (2) 共通スキルアップ講座

家庭教育支援の先進的で実践的な内容についての講座及び演習を実施。

○開催日：10月6日(金)

○会場：県総合社会教育センター

○テーマ：寄り添うということ～「親子」にとっての支援とは～

家庭教育支援交流モデル事業(ほのぼのサロン)

[事業目的及び概要]

家庭に関する情報交換や悩み相談等を通して相互に学び合うことを目的に、日常的な親同士のつながりや子育ての先輩たちとの交流ができる仕組みづくりを行う事業である。

[事業内容]

○実施場所：県総合社会教育センターほのぼのルーム

○実施回数：月1回程度

○定員・対象：10名・家庭教育支援に意欲的な人

○内容：家庭教育支援者による「おやこの広場(ほのぼのサロン)」の実施

活動内容：つながりおしゃべりタイム、あおもり親楽プログラム等

家庭教育支援コンテンツ制作事業 3,340千円

[事業目的及び概要]

家庭教育の重要性を訴えるとともに、子育てに関わる人々の抱える不安や悩みを軽減することを目的として、学習機会と情報の提供を行うとともに、学習教材(動画)の制作と普及活動を行う事業である。

[事業内容]

(1) 動画制作普及委員会の設置

動画制作普及委員会を設置し、制作内容の検討・評価等を行うとともに、普及活動について検討する。

(2) 学習教材(動画)の制作

ア 一般家庭向け(5分×10本、民間委託制作)

家庭教育の重要性を広く普及するため、様々な家庭等での取組を紹介する。

イ 家庭教育支援テレビ番組(15分×4本、民間委託制作)

4～6歳の子どもをもつ保護者及び乳幼児期の子どもを孫にもつ祖父母等多くの方々を対象とした作品とし、家庭教育に広く関心をもってもらう。

(3) ホームページでの動画配信やDVD等による各種研修会等での活用。

(4) 市町村やPTA等から要望があれば、講師としてコンテンツを活用した講座を行う。

(5) コンテンツを活用した講座の活用方法について、展開例を作成する。

家庭教育相談事業 394千円

[事業目的及び概要]

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生の子を持つ親や家族を対象に、電話・メール等により寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

[事業内容]

○対象：乳幼児から高校生までの子育て・孫育て中の親と家族

○実施方法：電話相談・週2回 水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～16:00

メール相談・24時間受付

○場所：青森県総合社会教育センター電話相談室

○対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などの子どもに対する悩みや家庭教育全般について

○相談体制：青森県総合社会教育センター家庭教育担当職員及び家庭教育支援員が対応

県立図書館

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、市町村立図書館等に対して幼児、児童・生徒用図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

小・中学校の読書活動や幼稚園・保育所の読み聞かせ活動を支援するため、朝の読書用、父母が幼児に読み聞かせする絵本・児童書、読み聞かせ活動用の大型絵本、環境・福祉・食育等のテーマに沿った図書、ブックトーク実演のための図書の各セットを、希望する市町村立図書館等に貸出し、学校等に配本する。(4/1(土)～3/31(土))

高校生の読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

高校生(特別支援学校高等部を含む。)の読書活動推進を目的として、高等学校図書館等に対してキャリア教育の充実、教育活動を支援する図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

高等学校の読書活動を支援するため、進路や生き方、職業選択に関する図書のほか、美術、音楽、スポーツなど高校生世代の興味の対象になりそうな図書セットを、希望する高等学校等に貸出・配本する。(4/1(土)～3/31(土))

梵珠少年自然の家

梵珠少年自然の家主催事業 1,530千円

(1)看板事業

〔事業目的及び概要〕

教育効果が高い企画及びその運営手法などを広く普及啓発していくことを目的として、発達段階に応じた施設の魅力を生かした活動プログラムを提供していく事業である。

活動名	期日	対象	募集人員	内容
①9歳チャレンジ・キャンプ ～ひとりのできるぞ!～	7/28(金) ～30(日)	9才児童 (小学3・4年生)	24名	仲間づくり交流ゲーム、家族への手紙書き、テント設営、ベイトラップ製作と設置、ホタル観察ハイク、松倉神社登山、キャンドルサービス、ブーメランづくり、ディスクゴルフ、野外炊事
②夏の7days キャンプ ～梵珠から小泊へ この夏 マウンテンバイクで走る 115kmのチャレンジ!～	8/6(日) ～12(土)	小学5年生 ～中学3年生の児童生徒	20名	出合いのつどい、川遊び、マウンテンバイクによる移動型テント泊、野外炊事、十三湖シジミ採り体験、中泊町メバル網はずし体験、海水浴、カヌー体験、キャンプファイヤー、メモリアルクラフト、別れのつどい
③年長すくすくキャンプ ～キッズの大冒険～	9/9(土) ～10(日)	幼児(年長児)とその保護者	24名	アイスブレイク、棒パン作り、丸太切り体験、段ボールハウス作り、ハイキング、丸太メダル作り
④ぼんじゅ冬キャンプ ～冬山ハイキングを楽しもう～	2/16(金) ～18(日)	小学5年生 ～中学3年生の児童生徒	24名	出合いのつどい、冬山ハイキング、野外炊事、スノーチューブ滑走体験、別れのつどい

(2)養成事業

〔事業目的及び概要〕

自然体験活動の普及を図ることを目的として、当施設の利用団体の引率者、高校生、大学生、青少年教育団体の関係者を対象に、基礎的技術の伝達や様々なプログラムを体験できる研修機会を提供し、自然体験活動の指導者を養成する事業である。

活動名	期日	対象	募集人員	内容
①在学少年宿泊指導者研修	4/18(火) ～19(水)	平成29年度 利用予定団体 の引率者及び 今後利用を考 えている団体 の引率者	160名	実技体験(野外・室内・創作の各プログラム)、宿泊体験、講義(自然体験活動の意義及び効果的な自然の家の利用について)、説明(施設利用に当たっての留意点)、演習・実践(日課表作成)
②自然体験活動ボランティア入門セミナー	5/27(土) ～28(日)	高校生以上 (高校生、大学 生、青少年指 導者、教員等)	30名	講義、野外活動、課題解決型野外炊事、キャンプファイヤー、人間関係作りワークショップ、救命救急実習、施設ボランティア登録
③自然体験活動ボランティア実践セミナー (1)9歳チャレンジキャンプ (2)夏の7days キャンプ (3)ファミリーキャンプ (4)年長すくすくキャンプ (5)自然体験ぼんじゅフェスタ (6)冬にとびだそう (7)ぼんじゅ冬キャンプ	実施日は各 事業を参照	「自然体験活 動ボランティア 入門セミナー」 を受講してい ることが参加 条件。	定員は各事業 により異なる が、(3)と(5) は12～30名、 他は4～6名	自然体験活動ボランティア入門セミナーで学んだ成果を生かし、各自が選択した(1)～(7)の主催事業の中で、自主企画の企画立案及び運営を行う。 【想定される活動内容】 参加者の活動支援及び安全管理、仲間づくりの促進、創作活動時の製作指導、自主企画の立案及びその運営等
④指導者養成 ～ぼんじゅ出前講座～	平成29年 4月～5月、 10月～平成 30年3月 【各回即日】	幼稚園・保育 所及び小・中 学校、特別支 援学校の小・ 中学部、青少 年教育団体 (子ども会、児 童館、公民館 、放課後子 ども教室等)	特に定 めない	団体が開催する各種行事(事業)に向き、自然の家が提供するプログラムの実施における指導と助言を行う。指導及び助言とは、指導者への指導法等の伝達及び助言、児童生徒への直接指導、指導者研修会等での指導及び助言や実地指導である。活動プログラムは「指導者養成～ぼんじゅ出前講座～」プログラム一覧参照

(3)親子事業

【事業目的及び概要】

親子や仲間とのふれあいを深めながら自然について学ぶとともに、自然に親しむ態度を育てることを目的として、施設周辺の恵まれた自然環境を生かした多様な体験活動を行う事業である。

活動名	期日	対象	募集人員	内容
春を楽しむサン day～春の妖精たちに会いに行こう～	4/30(日)	小・中学校の 児童生徒とそ の保護者	40名	自然観察・摘み草体験、よもぎスイーツづくり
ファミリーキャンプ 家族day 野外炊事！～ダッチオープンに挑戦してみませんか～	8/26(土) ～27(日)	幼児～中学生 とその保護者	20家族 80名	野外活動体験、ダッチオープンによる野外炊事、ナイト散策、テント泊、創作活動
自然体験ぼんじゅフェスタ	10/29(日)	小・中学校の 児童生徒とそ の保護者及び 自然体験活 動に関心	200名	ダッチオープン体験、棒パンづくり体験、せんべい焼き体験、本格リース作り、木工クラフト、遊びのコーナー、創作ワークショップ、防災グッズ展示コーナー、関係機関出展ブース他

活動名	期日	対象	募集人員	内容
		のある方		
本格門松をつくろう	12/16(土) 及び 17(日) 【両日とも同内容】	小・中学校の 児童生徒とそ の保護者及 び一般の方	200名 うち一般 の方の 参加は 40名ま で	本格門松づくり(土台作り、飾り付け)
冬にとびだそう ～親子で白銀の世界へ～	1/20(土) ～21(日)	小・中学校の 児童生徒とそ の保護者	50名	みんなで作る鍋(昼食作り)、雪灯籠 作り、夜の雪灯籠祭り、雪山探検隊

種差少年自然の家

種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、子どもの祭典) 902千円

【事業目的及び概要】

小・中学生が家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもに育てることを目的として、自然体験活動や野外でのキャンプ活動、創作活動等さまざまな活動を体験する機会を提供する事業である。

【事業内容】

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期日	対象	募集定員	内容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/14(日)	小・中学生 とその 保護者	100名	春の自然を楽しもう わくわくウォークラリーなど
たねさしワールド 「エンジョイ!海遊び」① ② ※2回開催	7/2(日)		100名	海で思いっきり遊ぼう いかだ、カヌー、サンドクラフト、磯遊び等
	7/9(日)		100名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/15(日)	小・中学生 とその 保護者	100名	秋の自然を楽しもう 自然に親しむゲーム、創作活動等
たねさしワールド 「つくって新発見」	12/3(日)	保護者	100名	クリスマス飾りを作ろう 創作リース等
たねさしワールド 「エンジョイ!雪遊び」① ② ※2回開催	1/27(土)	4歳以上 の幼保・ 小・中学生 とその 保護者	100名	雪で思いっきり遊ぼう スノーチューブすべり、そり遊び、 スノークラフト等
	1/28(日)		100名	
たねさしワールド 「こども大作戦」①② ※2回開催	2/10(土) ～11(日)	小3年～ 4年	40名	子どもだけで泊まって楽しもう 仲間づくり、レクリエーション、夜の森探検等
	2/17(土) ～18(日)	小1年～ 2年	40名	

(2) 子どもの祭典

事業名	期日	対象	募集定員	内容
おいでよ! サマーキャンプ	8/8(火) ～11(金)	小5 ～中3	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ナイトハイク ・海での活動等
わくわくどきどき ウィンターキャンプ	12/25(月) ～27(水)	小5 ～中3	20名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・冬の自然体験 ・森での活動等

自然体験活動支援事業	257 千円
------------	--------

[事業目的及び概要]

学校や身近な野外活動場所で子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動の実地支援を行う。また、自然体験活動の指導者の資質向上を図ることを目的として、小中学校及び関係機関等の指導職員を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10月～3月 ※6月～9月 は原則なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童館、 公民館、青少年団体 や成人団体等 ※10名以下の団体も可		・種差少年自然の家のプログラムの中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、どんぐりアート、動物マグネット、貝がらアート等)
自然体験活動 研修会	6/3(土) ～4(日)	幼・小・中学校教員、 高校・大学生、児童 館など関係機関の 指導者、その他自然 体験活動に興味の ある方	50名	・アドベンチャーゲームや野外活動 ・野外炊事や創作活動等のプログラムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練等

在学少年宿泊指導者研修

[事業目的及び概要]

種差少年自然の家を利用する小・中学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

[事業内容]

- 期日：4/24(月)～25(火)
- 対象：平成29年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員
- 内容：(講義)社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方
(実習)活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法
(演習)活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認

親子で学ぶ防災キャンプ事業	197 千円
---------------	--------

[事業目的及び概要]

避けることのできない自然災害に遭遇したとき、災害時における実践的な対応能力を育むことを目的として、小・中学生の家族を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集定員	内 容
親子の絆 ～防災編～	9/23(土) ～24(日)	小・中学生と その保護者	24組 80名	・いざという時の役立つ技術の実習 ・プレーホールでの避難所体験泊 ・保存食づくり 等

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者の育成
- イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

生涯学習課

市町村の社会教育活性化支援事業 1,130 千円

〔事業目的及び概要〕

市町村の社会教育主事等の力量形成とその専門性を生かした社会教育の活性化を目的として、生涯学習課と教育事務所が連携し、地域課題の検討会や研修会を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村地域課題検討会
生涯学習課や教育事務所の職員が各市町村に出向き、県として取り組むべき課題や市町村独自の課題に応じ、課題解決に向けた方策や手法を検討する。8 市町村以内で最大 5 回開催する。また、必要に応じ県内の有識者を派遣する。
- (2) 市町村社会教育主事等専門研修
市町村の社会教育主事等が、生涯学習・社会教育推進に係る職員として必要な資質・能力の向上を図るため、講義やグループ協議など実践的な研修を行う。

総合社会教育センター

パワフルAOMORI！創造塾 1,429 千円

〔事業目的及び概要〕

新たな地域活動者の発掘を行いながら、仲間づくりの促進やネットワーク(つながり)の形成・強化、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 期日
 - 第 1 回 7/29(土)～ 7/30(日)
 - 第 2 回 8/19(土)～ 8/20(日)
 - 第 3 回 10/28(土)～10/29(日)
 - 第 4 回 11/25(土)
- (2) 会場
 - 第 1～3 回 県総合社会教育センター、青森公立大学国際交流ハウス(各回 1 泊 2 日)
 - 第 4 回 県総合社会教育センター
- (3) 対象者
 - ・地域活動の実践者、指導者、コーディネーター
 - ・大学、企業、NPO、市町村職員等の地域活動に関わる関係者
 - ・地域を元気にしたいという想いのある者
 - ・地域活動を実際に企画運営してみたい者

※原則として全回出席できる者
- (4) 募集人数 20 名程度
- (5) 受講料 無料(但し、交通費や宿泊費等は自己負担とする。)
- (6) 内容
 - 講師による講義・演習のほか、グループによるディスカッション
 - 地域活動を企画運営する「実践活動」
 - 研修成果に係る発表会

公民館パワーアップ講座

〔事業目的及び概要〕

地域コミュニティの拠点としての公民館機能を活性化するため、公民館の運営に必要な基礎的かつ実践的な知識及び技術等についての研修を行い、公民館関係職員相互の連携を図る事業である。

〔事業内容〕

- (1) 対 象 公民館・市民センター職員、教育委員会職員、社会教育委員等
- (2) 開催時期 平成29年6月～平成30年2月 年4回
- (3) 開催場所 県総合社会教育センター
- (4) 人 数 30名程度
- (5) 講座内容

ア 講義「公民館運営の現状とこれから～地域の教育力向上のために公民館ができること～」

イ パネルトーク「私の公民館運営のポイント～他団体との連携を通して～」

ウ 事例発表「私のオススメ事業」 等

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 700千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実務的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

〔事業内容〕

(1) 新任職員研修

○開催期日：5/18(木)

○開催回数：1回(県総合社会教育センター)

○対 象：市町村教育委員会・関係団体等の新任職員

○内 容：社会教育行政の業務遂行に係る基礎的な知識・技能の習得

(2) 実務研修(センター会場)

【社会教育編】

○開催時期：8月～10月

○開催回数：3回(県総合社会教育センター 30名×3回)

○対 象：市町村教育委員会・関係団体等

○内 容：第1回 子どもの心の発達について
第2回 住民が直接関わるまちづくりの実践
第3回 マルチステークホルダーとの協働

【実践テクニック編】

○開催時期：6月～7月

○開催回数：3回(県総合社会教育センター 30名×1回/20名×2回)

○対 象：市町村教育委員会・関係団体等

○内 容：第1回 事業展開の実践と計画づくりの基本
第2回 チラシづくりの基本(W o r dを使った初級テクニック)
第3回 チラシづくりの応用(W o r dを使った上級テクニック)

(3) 実務研修(各地区会場)

○開催時期：5月～9月

○開催回数：6回(1回×6地区 教育事務所単位)

○対 象：市町村教育委員会・関係団体等

○内 容：各地区の課題を掘り起こしながら、それぞれの課題に対応できる人材を育成
東青地区 学校支援と地域連携
西北地区 人口減少への対応
中南地区 グローバル視点の地域の教育
上北地区 地域課題への実践的取組
下北地区 地域コミュニティと地域の教育力向上
三八地区 学校支援と学習成果の活用

(3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

- ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

生涯学習課

特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業 573 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校(特別支援学校)の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

〔事業内容〕

特別支援学校の有する専門性を生かし、公益性の高い公開講座を開設する。

- 実施予定校数：6校
- 対象：一般県民(小中高生を含む)

総合社会教育センター

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 914 千円

〔事業目的及び概要〕

自己の生き方や働き方について考えたり人生設計したりするための学習を、県民の誰もがいつでもどこでも手軽にできることを目的として、インターネットによる講座の配信を行う事業である。

〔事業内容〕

インターネットによる学習教材の配信(eラーニング)

- (1) 元気青森人 PowerUp コンテンツ
- (2) あおもり学インターネット講座
- (3) あおもり子育てネット

学習情報の収集・提供事業 7,219 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の学習活動を支援することを目的として、各種学習情報を収集し、インターネットにより県民に提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
4情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供を行う。
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理
青森県学習情報提供システム用サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 527 千円

〔事業目的及び概要〕

16mmフィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入

あおもり県民カレッジ運営業務**〔事業目的及び概要〕**

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応
学生募集、学生証の交付、単位認定
 - イ 連携機関への対応
登録受付、連携機関連絡会議の開催、タイアップによる講座・イベント開催
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ 普及啓発情報収集
連携機関等への取材、社会参加に関する情報の収集
 - ウ 生涯学習HPの作成
- (3) 学習情報提供・学習相談
 - ア 学習相談
 - イ 学習情報提供
学習機会情報・活動機会情報の収集及び提供
 - ウ 情報紙「てのひら」作成
- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座開催
県内6地区にて開催
 - イ ボランティア自主講座の開催(社会参加活動支援)
 - ウ 専門講座開催
 - エ 「カダイ」は「マナビ」のチャンス! You 遊トライアル
【平成29年度テーマ】ヘルシー! 短命県返上・健康
- (5) 評価サービス
 - ア 県民カレッジ学生への評価サービス

インフォメーションプラザありすの運営**〔事業目的及び概要〕**

インフォメーションプラザありす(学習情報サービス室)は、生涯学習に関する総合窓口であり、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、図書資料等の閲覧サービス等の業務を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 窓口対応
- (2) 社会参加活動の事例紹介とマッチング
- (3) 視聴覚教材貸出サービス
- (4) ポスター、チラシ、図書資料等の展示

チャレンジ先生の手作り講座**〔事業目的及び概要〕**

誰もが「講師」に挑戦できる仕組みを構築することで県民の社会参加活動を推進するとともに、受講生と講師の「学び合いの場」を作ることによって、多様で質の高い学習機会を創出する。運営については市場原理を導入して活性化を図る。

〔事業内容〕

- (1) 講師について
 - ・講師は公募し、面談後決定
 - ・講師の資質向上のための研修会の実施
- (2) 講座について
 - ・講座における実施回数、募集定員、受講料について複数のレベルを設定し、講師が選択してチャ

レンジする。

- ・講座の開催は、7・8月期、11・12月期、1・2月期の3期とする。
- ・最小開講人数を設定し、一定の基準を満たす応募があった場合に開講する。
- ・受講料を徴収し、これによって運営費を賄うこととする。

ボランティア活動支援機関連絡会議

〔事業目的及び概要〕

ボランティア活動を支援する機関のネットワークの構築・強化を図ることを目的とし、情報共有・情報交換を行う会議を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 開催時期 4月～5月
- (2) 開催場所 県内6地区
- (3) 会議内容 各機関の活動状況等について

県立図書館

近代文学館 特別展開催 2,073千円

〔事業目的及び概要〕

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：「葛西善蔵生誕130年特別展」
- (2) 会期：7/8(土)～9/18(月)
- (3) 内容：展示、文学講座、パネル展を実施する。

- 展示 葛西善蔵は1887(明治20)年、弘前松森町(現弘前市)に生まれ、家族とともに北海道や青森町(現青森市)、五所川原村(現五所川原市)を転々とした後、碓ヶ関村(現平川市)で育った。青年期には上京と帰郷を繰り返し、1912(大正元)年に同人雑誌「奇蹟」に処女作「哀しき父」を発表。1919(大正8)年には第一創作集『子をつれて』を刊行。貧困と病の中で身を削るようにして作品を書き、私小説・心境小説の第一人者として注目され、1928(昭和3)年に41歳で死去。生誕130年という節目に当たり、時代を超えて熱烈な愛読者を獲得し続ける葛西善蔵の文学の奥深さに迫る展示を開催。
- 文学講座 関係者・研究者等を招き、文学講座を開催する。第1回は、県外から著名な講師を招いての基調講演やシンポジウム等とし、第2回は、県内文学研究者等による講座を実施。
- パネル展 若い世代や遠隔地の県民へのサービスとして、特別展終了後に展示内容を再構成したパネルを作成し、学校・公共施設等で巡回展を開催。

近代文学館 企画展開催 763千円

〔事業目的及び概要〕

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 「没後80年・菊谷栄展」
 - 会期：10/28(土)～1/14(日)
 - 内容：菊谷栄(本名栄蔵)は、1902(明治35)年青森県東津軽郡油川村(現青森市)に生まれた。1921(大正10)年に上京し、日本大学法文学部美学科に入学するとともに川端画学校にも通う。1930(昭和5)年エノケンこと榎本健一の新カジノフォーリーに舞台装置製作で参加した後、エノケンの座付き劇作家として活躍、「リオリタ」、「パリの与太者」、「ヤンキー若様」、「民謡六大学」などのヒット作でエノケンの黄金時代を支えた。1937(昭和12)年9月兵役召集を受け、11月9日中国南和で戦闘中に撃たれ戦死した。菊谷栄の業績を概観するとともに、竹内俊吉、太宰治をはじめ本県文学者との交流とその影響について紹介する展示を開催。

(2) 「本の装い」展

○会期：2/24（土）～5/20（日）

○内容：日本の銅版画の先駆者でもあり青森県の創作版画の祖といわれる今純三の「青森県画譜」をはじめ、関野準一郎、棟方志功、佐藤米次郎の作品や阿部合成作で、今官一の直木賞受賞作『壁の花』の表紙絵原画、佐野ぬい作の北島八穂『北島八穂児童文学全集』表紙原画などを展示。

アウトリーチサービス推進事業	221 千円
-----------------------	---------------

〔事業目的及び概要〕

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者等に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・FAXにより希望図書の申込みを受け、宅配便を利用して貸出・返却を行う。(4/1(土)～3/31(土))

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,173千円

[事業目的及び概要]

生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備するため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

[事業内容]

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

第13期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(H28/8/21～H30/8/20)

○方針：県及び県教育委員会が実施する生涯学習・社会教育関連事業について調査し、生涯学習課が今後取り組むべき事業について審議する。

○審議テーマ：「あおもりで若者が集い、生き生きと活躍できる持続可能な地域社会づくり」

○会議等の予定：第3回(6月)、先進地実地調査(7月～12月)、第4回(2月)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 1,143千円

[事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

[事業内容]

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：(仮)「生涯学習・社会教育に関する県民の意識調査」

○調査対象：一般県民3,000人

○顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。

○報告書：100部を印刷し関係機関に配付するほか、ホームページでも公開する。

青森県社会教育委員の運営 730千円

[事業目的及び概要]

本県の社会教育推進体制の充実を図ることを目的として、社会教育法第15条に基づき青森県社会教育委員を設置し、本県社会教育の現状と振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行うことを目的として会議を運営する事業である。

[事業内容]

第33期青森県社会教育委員の会議

○委員：12名(うち、専門部会委員4名)

○任期：2年(H28/10/19～H30/10/18)

○第33期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ

「人口減少下における地域コミュニティ形成のための行政と民間の新たな連携・協働の在り方」

○会議等の予定

第1回専門部会 5月上旬 調査研究の具体的な内容・方法について

第3回全体会	7月上旬	議長・副議長選任、調査研究の具体的な内容・方法について
実地調査	7月中旬～11月上旬	
第2回専門部会	11月中旬	調査結果の確認・分析
第3回専門部会	1月中旬	調査結果の分析・考察
第4回全体会	2月中旬	調査結果の分析・考察、社会教育関係団体補助について

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 262 千円

〔事業目的及び概要〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容及び結果〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「平成 29 年度青森県の社会教育行政」の作成配付(600 部作成予定)

社会教育主事派遣事業 8,269 千円

〔事業目的及び概要〕

町村等の社会教育行政及び社会教育指導体制の充実を図ることを目的として、社会教育主事の資格を有する学校職員を町村等教育委員会に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣先 上北地方教育・福祉事務組合 派遣者数 1 名

生涯学習専門講座派遣事業 182 千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習の進行に置いて中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣先 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名 社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 派遣人数 各 1 名

社会教育主事等一般研修 154 千円

〔事業目的及び概要〕

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

〔事業内容〕

- 研修会の開催 年 2 回(予定)

在学青少年育成費補助事業 359 千円

〔事業目的及び概要〕

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔事業内容〕

- 東京青森県人会及び青森県高等学校長協会が実施する高校生を対象とする講演会事業に助成する。
 - 内 容：東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。
- 実施場所：県内高等学校 6 校
(青森工業高等学校、青森山田高等学校、黒石高等学校、鱈ヶ沢高等学校、五戸高等学校、八戸北高等学校)

市町村の社会教育活性化支援事業(再掲) 1,130 千円

(P21 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

青森県連合青年団活動費補助事業 427 千円**〔事業目的及び概要〕**

県内の青年による活動の振興を図るために、青森県連合青年団が行う事業に対し助成を行う事業である。

〔事業内容〕

青森県連合青年団が実施する下記の事業に助成する。

補助対象事業名	期日	開催場所	参加人数
第 66 回青森県青年大会開催事業 (主催事業)	8 月中旬～9 月中旬	東青地区	30 名
第 66 回全国青年大会参加事業 (主催：日本青年団協議会)	11 月中旬	東京都：東京体育館他	20 名
第 63 回青森県青年問題研究集会開催事業(主催事業)	1 月中旬～2 月中旬	青森市	10 名

総合社会教育センター**ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー 213 千円****〔事業目的及び概要〕**

ボランティア関係職員の専門性と資質の向上及びネットワークの構築を目的としたセミナーを開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

〔事業内容〕

- (1) 対 象 各市町村教育委員会及び首長部局職員、各市町村社会福祉協議会職員、市町村ボランティア連絡協議会、各市町村ボランティア活動支援機関職員(ボランティアセンター、ボランティア活動支援センター等)
- (2) 開催期日 1/16(火)、1/23(火)、1/26(金)
- (3) 開催回数 3 地区各 1 回(青森市：県総合社会教育センター、八戸市：八戸市視聴覚センター児童科学館、弘前市：弘前市民会館)
- (4) 人 数 各会場 30 名程度
- (5) 内 容 講義、事例発表及び情報交換を行い、参加者の専門性と資質の向上を図るとともに参加者同士のネットワークを構築する。

公民館パワーアップ講座(再掲)

(P22 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲) 700 千円

(P22 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

県立図書館**県立図書館資料整備 64,111 千円****〔事業目的及び概要〕**

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的として、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

〔事業内容〕

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館	59,615 千円
近代文学館	4,496 千円

市町村立図書館等職員研修事業 245 千円**〔事業目的及び概要〕**

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を図ることを目的として、初任者研修、実務研修、テーマ別研修及び提案型研修を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために青森県立図書館事業等担当者会議を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 県立図書館事業等担当者会議 年1回 5/11(木)
- (2) 初任者研修 年2回 5/24(水)・6/22(木)
- (3) テーマ別研修 年1回 6/8(木)
- (4) 実務研修 年1回 11/15(水)
- (5) 提案型研修 年1回 開催日未定